

求人情報や手厚い子育て支援で移住・定住を

加西市への移住・定住につなげていこうと平成 27 年 12 月 21 日、加西市ふるさとハローワーク内に「UJI ターン就職相談窓口」を開設しました。

加西市を故郷にする方などで UJI ターン（※）を希望する方に、国の職業相談員が職業相談・紹介を、市の就労支援員が住まいや子育てに関する市の定住施策の紹介・相談を行います。市独自の就職情報発信の拡大と相談機能の強化により、安心のサポート・雇用定住促進を図っていきます。

場所／アスティアかさい 4 階 ふるさとハローワーク内

時間／平日 9:00 ～ 17:00 ※年末年始は休業

※ UJI ターンとは、大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称で、「U ターンは出身地に戻る」「J ターンは出身地の近くの地方都市に移住する」「I ターンは出身地以外の地方へ移住する」ことです。



UJI ターン就職相談窓口で移住の不安を解消



加西市求人情報誌

■市内の求人情報 400 件をまとめた情報誌を発行

市内事業所の求人情報をまとめた情報誌を、平成 27 年 12 月から発行しました。

求人情報は毎週更新し、市の定住支援施策も紹介。相談する時間のない方でも、最新情報を知ることができます。情報誌は、市役所、地域交流センターの求人情報コーナーでも入手できます。

UJI ターンするための支援策

■ UJI ターン促進補助金交付制度 (人口増政策課)

奨学金を受けて大学等に進学し、卒業した後に U ターンして加西市に住む方や、新たに移り住む方が返還している奨学金の一部を補助します。

■日経就職ナビ（加西市雇用開発福祉協議会）

市内にはモノづくりに携わる企業が多数あり、高度な技術力でグローバルに活躍しています。このような企業情報を、より多くの大学生に発信するため、インターネットの就職情報サイトに掲載しています。



加西市企業特集

定住するための支援策

住まい

●若者定住促進住宅補助

若者世帯が、市内に住宅を取得した場合に最高 50 万円を補助します。

●新婚世帯向け家賃補助

新婚世帯が、新たに住む市内賃貸住宅の家賃を 3 年間補助します（上限 12,000 円/月）。

●空き家バンク

市内定住を目的として空き家の利用を希望する方に、空き家バンクに登録された情報を提供します。



出産・育児

●産後ママ専用のケアダイヤル

加西病院の助産師が、母乳（授乳・卒乳）や育児などの相談に応じます（平日 9:30 ～ 16:00 ☎42-0727）。

●多子世帯の保育料を軽減

3 人以上の子どもを育てる世帯に、第 2 子以降の保育所や幼稚園等の保育料の一部を助成します。

●病児・病後児保育

病気などで保育所に通えないお子さんを、一時的にお預かりします。小児科に併設していますので子どもが病気のときも安心です（ひまわり ☎35-8415）。

子育て・教育

●中学 3 年生までの医療費無料

中学 3 年生までの医療費が無料（所得制限あり）。

●学童保育園の利用がより便利に

放課後に家庭で保育を受けることができない小学生を、午後 6 時 30 分まで学童保育園で受け入れ、子育てを全面サポート。

●快適な学習環境

全ての学校にエアコンと洋式トイレを完備。学校施設の耐震化率も 100%（平成 28 年 3 月）。

●全ての学校で給食を実施

健やかな成長のため、安全安心で加西産の食材も使っています。

～野村萬斎さん監修・演出～ 新作狂言『根日女（ねひめ）』を演じ、狂言を楽しく学びます

昨年5月に「播磨国風土記 1300年祭」で、狂言師の野村萬斎さん監修・演出の新作狂言『根日女』を演じた加西市こども狂言塾。加西市の新たな狂言文化を継承していく第3期生を募集します。

狂言は、2001年にユネスコ「世界無形文化遺産」に認定された室町時代から続く日本の伝統芸能で、国語の教科書にも取り入れられています。

新作狂言『根日女』は、1300年前の『播磨国風土記』に記された根日女物語を題材に誕生しました。

お稽古を通じて、新作狂言『根日女』を学び・演じることは、加西市をはじめとする播磨地域や狂言という伝統文化に触れる貴重な経験となります。

ポイント

- ・毎年5月、舞台上で野村萬斎さん監修・演出の新作狂言『根日女』を演じます
- ・作法や立ち居振る舞いなど、礼儀作法も身につきます
- ・初心者でも、プロの狂言師が丁寧に指導します

■稽古日／平成28年4月から29年3月までの金曜日 19:00～21:00（月2回程度）

■対象／播磨地域在住の小学3～5年生（2月1日現在）

■会場／サカイダンスアカデミーほか（加西市内）

■定員／30人 ※4月上旬に簡単な面談を行います。

■受講料／市内の方は月1,000円、市外の方は月2,000円

■申込／申込書（市ホームページ）に記入のうえ、郵送またはFAX、メールで申し込みください。

■募集期間／3月18日（金）まで

■申込先／〒675-2395 加西市北条町横尾1000
文化・観光・スポーツ課 ☎42-8756 FAX 42-8745
bunka@city.kasai.lg.jp



播磨国風土記1300年祭で、野村萬斎さんと新作狂言「根日女」を演じた「こども狂言塾」の塾生ら

小・中・高生が全国で活躍

全国大会出場選手5名に賞賜金を贈呈

加西市は、今後の活躍を期待して文化・スポーツ振興賞賜金を贈呈しました。

三枝虎太郎さん（兵庫FC、北条小6年、北条町古坂）／平成27年12月26日から29日に鹿児島市で行われた「全日本少年サッカー大会」に主将として出場し、チームをベスト4まで導いた。「今後、セレッソ大阪ジュニアユースで練習に励み、海外で活躍できる選手になりたい」と話しました。



福井若菜さん（泉中3年、大内町）／平成27年12月25日から28日に大阪市で行われた「全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に、兵庫県代表として出場。「高校でもバレーを続けるので、さらにサーブやスパイクを磨いていきたい」と話しました。



西本菜緒さん（日ノ本学園高3年、中山町）／平成28年1月5日から10日に東京体育館で行われた「全日本高等学校選手権大会（春高バレー）」に出場。「2回戦で準優勝の高校に負けてしまったけれど、楽しむことができた。あきらめずにやってきてよかった」と話しました。



松井海斗さん（^{えぼら}日体荏原高3年、笹倉町）／平成27年8月8日から12日に奈良県天理市で行われた「全国高等学校柔道大会男子団体戦」に先鋒で出場し準優勝に貢献。「今後はどんな相手でも投げられるように、筋力を強化し技のキレを磨いて東京五輪を目指す」と話しました。



高井真一さん（並木学院高3年、北条町横尾）／平成27年3月22日にさいたま市で行われた「全日本サブジュニアパワーリフティング選手権男子66kg級」に出場し、3回の試技で430kgを上げて優勝。「優勝できてうれしかった。今後は世界大会に出場できるように頑張りたい」と話しました。

